

基礎科目(基礎コア科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL001	障害科学	1	1.0	1	春AB	応談3		米田 宏樹, 森地 徹, 原島 恒夫	障害科学の分野における特別支援教育学、臨床指導学、障害福祉学の観点から、研究及び実践の動向と課題について理解し、各分野における国内外の文献を収集、講読し、受講生同士で討論を行う。	必修科目
01EL002	障害科学調査・実験実習I	3	1.0	1	春AB	月1,2	人間A101	岡崎 慎治, 名川 勝, 宮本 昌子, 宮内 久絵, 野呂 文行, 米田 宏樹, 柘植 雅義	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、その基本的な研究方法を実習形式で学習する。具体的には、文献検索および文献研究法、視覚検査法、聴覚機能評価法、知能・発達検査法、生理心理実験法、量的調査研究法、質的研究法、事例研究法等を取り上げ、グループ別に実習を行い、実習結果についてレポートを作成する。また、障害科学研究における研究倫理と研究倫理申請の手続きの実際についても説明する。	OATC001と同一。主専攻必修科目。必修科目
01EL003	障害科学調査・実験実習II	3	1.0	1	秋ABC	随時	人間A101	柘植 雅義, 米田 宏樹	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、その基本的な研究方法のうちいくつかを、自身の研究関心に即して選択し、実際に適用し、予備的研究を行い、研究結果を報告としてまとめる。この作業を通して研究実践の基礎を学ぶ。ここでは、先行研究のレビュー、研究課題・方法の設定、研究の実施、結果の分析・考察という一連の流れに即した実習を行う。合わせて、自身の研究に関する研究倫理申請書の作成もを行い、指導を受ける。	OATC002と同一。主専攻必修科目。必修科目
01EL004	障害科学研究法I	8	1.0	1	通年	随時	人間A101	障害科学専攻全教員	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、応用的、あるいは最新の研究方法を理解する。	必修科目
01EL005	障害科学研究法II	8	1.0	2	通年	随時	人間A101	障害科学専攻全教員	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、応用的、あるいは最新の研究方法を理解する。	必修科目
01EL006	障害科学研究法III	8	1.0	2	通年	随時	人間A101	障害科学専攻全教員	障害科学分野の教育・心理・医学・福祉のそれぞれの側面について、応用的、あるいは最新の研究方法を理解する。	必修科目

専門基礎科目/専攻共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL101	特別支援教育総論	1	2.0	1・2	春AB 春C	月6 月5,6	人間A101	米田 宏樹, 岡 典子	世界と日本の特殊教育・障害児教育の歴史的展開を概観するとともに、特別支援教育が目指すべき教育制度・実践について講述する。	OATC101と同一。実務経験教員
01EL102	視覚障害教育学	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2		小林 秀之	視覚障害児童・生徒の教育について、盲教育・弱視教育の観点から、その制度、教育内容、指導の特質などを解説する。具体的には、インクルーシブ教育システムと視覚障害教育、視覚障害の定義と分類、視覚障害児の学びの場それぞれの教育の特徴、視覚障害特別支援学校のセンター的機能、学習指導要領における視覚障害への配慮について、点字教科書と拡大教科書について、弱視児童生徒に対する見えにくさに対する対応、盲児童生徒の触覚の活用、点字の構成と日本点字表記法、視覚障害教育における交流・共同学習、視覚障害教育における専門性等について、詳述する。	OATC111と同一。実務経験教員
01EL103	視覚障害指導法	1	2.0	1・2	秋AB	応談		小林 秀之, 宮内 久絵	視覚障害児に対する指導について、教科と自立活動領域の指導を中心にして、その指導内容、指導計画、指導方法、指導の評価等の観点から具体的内容を想定して検討する。	OATC112と同一。実務経験教員
01EL104	視覚障害心理学	1	2.0	1・2	春AB	応談		佐島 毅	講義形式で授業を行う。視覚障害幼児の発達特性、常同行動・バーバリズム、触覚の特性と概念形成、聴覚の特性と空間概念、障害物知覚と環境認知、点字とコミュニケーション、弱視児の視知覚特性、弱視児の学習と教育について学ぶ。また、弱視児の見えにくさや盲児の触覚認知の特性に応じた学習について理解を深める。	OATC113と同一。実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL105	視覚障害病態生理学	1	2.0	1・2	春ABC	随時	人間A101	柿澤 敏文	講義形式で授業を行う。視覚系の構造、視覚障害の原因疾患の病態、視機能への各疾患が及ぼす影響、視機能評価、弱視の見え方と支援方法について学ぶことを目的とする。視覚障害の概念、定義、分類とともに、視覚系の構造と視覚障害をもたらす疾患の病態生理、盲学校在籍者の視覚障害原因の年次推移と現状を概説する。さらに、視覚の獲得過程、視機能とその検査方法、弱視の見え方、指導上の留意点について論ずる。加えて、眼光学や視覚補助具について取り上げる。	集中開講は春BC土日予定。日程は受講者と調整する。 OATC114と同一。 実務経験教員
01EL106	肢体不自由教育学	1	1.0	1・2	秋AB	応談		川間 健之介	わが国の肢体不自由教育の成立過程を欧米諸国と比較して概説するとともに、肢体不自由特別支援学校における児童生徒の障害の重度化、重複化の動向とこれが教員の専門性、教育の独自性に及ぼす影響について講述する。また、肢体不自由教育における今日的課題である障害の重度、重複化や多様化への対応について、教育課程の基準の弾力化、自立活動の指導、教授方法などの観点から概説する。	西暦偶数年開講 西暦偶数年度開講。 OATC121と同一。 実務経験教員
01EL107	肢体不自由指導法	1	1.0	1・2					肢体不自由特別支援学校に就学する児童生徒のうち、脳性まひ等の脳性疾患に着目し、その障害特性を概説する。あわせて諸特性に基づく教科指導及び自立活動の指導の在り方について、具体的な実践を通じて概説する。	(隔年開講)西暦奇数年 度開講) 西暦偶数年度開講。 OATC122と同一。 2020年度開講せず。 実務経験教員
01EL108	肢体不自由心理学	1	1.0	1・2	秋AB	応談		川間 健之介	肢体不自由児者の発達および心理学的課題について、運動学習、肢体不自由という心理的課題、肢体不自由が子供の発達に及ぼす影響、運動発達と認知発達、運動発達と認知発達の相互作用、社会性の発達と課題、コミュニケーションの発達と課題、中途障害者の心理、障害受容と社会参加を取り上げ、論述する。	OATC123と同一。 実務経験教員
01EL109	肢体不自由病態生理学	1	1.0	1・2	秋A	応談		竹田 一則	肢体不自由の病態生理について基礎的な理解をするため、骨・筋ならびに運動に関わる中枢神経系の機能と構造の基礎および、その障害について学ぶ。具体的には、運動障害の総論、骨のマクロの構造と機能、骨の微細構造とホルモンの関係、骨格筋のマクロの構造とその機能、骨格筋の微細構造と筋収縮のメカニズム、運動に関わる神経系の構造と機能に関連し、大脳の機能、錐体路、錐体外路とその障害、脳性まひを中心に生理学、医学の観点から概説する。	OATC124と同一。 実務経験教員
01EL110	障害児教育課程論	1	1.0	1・2	秋AB	応談		米田 宏樹	障害児教育における教育課程編成の原理と実際について概説し、障害の重度化、重複化あるいは多様化の中で、法令や学習指導要領に規定される特例を用いた弾力的な教育課程の編成について整理し、特別支援教育における教育課程の編成及び教育課程開発の在り方についての理解を深める。特に学校の社会的役割にもとづく教育課程の編成、教育課程編成に関わる法令・規定、特別支援教育における教材論・学習指導の原理等の特徴、各障害別の学習特性と教育的ニーズにもとづく教育課程の編成や授業実践の特徴等について講述する。	OATC131と同一。 実務経験教員
01EL111	知的障害教育学	1	1.0	1・2	春AB	応談		米田 宏樹	知的障害のある人々の生涯にわたる支援を実現するために、いかなる教育的支援や福祉的支援が必要なのかを概観するとともに、知的障害のある人たちが「支援を受けながら自己実現を図る」力をつけていくために行われるべき学校における指導と支援のあり方、個別的教育支援計画を媒介にした学校と諸機関・地域資源との連携のあり方について講述する。	OATC141と同一。
01EL112	知的障害指導法	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	人間A111	米田 宏樹, 野呂文行	知的障害児童生徒・自閉症児童生徒の学習特性とその特性に応じた指導法について解説し、合わせて、学校における授業実践の在り方を、特別支援学校、通常学校特別支援学級、通常学校通級指導教室の別に講述する。また、学校卒業後の生活と支援の在り方についても学習する。	
01EL113	知的障害心理学	1	1.0	1・2	春AB	応談		小島 道生	知的障害の発達支援に必要な教育心理学および発達心理学の基礎について講義する。典型的な心理的発達と知的障害の心理的発達の異同について説明し、能力の水準に応じて考えるべき問題と、能力の水準に関係なく蓄積されていく知識や経験の区別について講義する。また、個の特性に応じた適切な発達支援について講義する。	OATC143と同一。 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL114	知的障害病態生理学	1	1.0	1・2	春AB	集中	人間A101	塩川 宏郷, 米田 宏樹	知的障害および関連する発達障害の定義と、定義に関連する病態生理学的知見について基本的事項を講述する。また、虐待や非行、精神疾患についても概説し討論する。具体的トピックは、発達とその障害、中枢神経系の解剖学・生理学、操作的診断基準、知的障害、自閉症、注意欠如多動性障害、学習障害、知的障害・発達障害と虐待、知的障害・発達障害と非行等	両日とも10時～18時 OATC144と同一。 5/17, 5/24 実務経験教員
01EL116	聴覚障害指導法	1	2.0	1・2	春B 秋AB	集中 火5	人間A102	鄭 仁豪 左藤 敦子	聴覚障害児への言語指導の理論や指導方法に関して、基本的な事項を中心に、歴史的背景や指導の考え方、実際の指導方法について学習する。また、近年の、指導方法を巡るさまざまな考え方についても学ぶ。	集中分は両日とも10時～17時
01EL119	重複障害指導法	1	1.0	1・2	秋AB	応談		川間 健之介, 佐島 毅	複数の障害を合わせ有する児童生徒の状態像を理解することにより、重複障害児教育における教育実践の持つ意義を把握することを目的とする。重複障害児の発達の様相と教育の持つ意味の理解をはかる。	教室は2A411
01EL120	特別支援学校教育実習	3	3.0	1・2	通年	随時		小島 道生, 小林 秀之, 米田 宏樹, 左藤 敦子, 川間 健之介	障害のある子どもたちの指導に必要な知識、技能、態度を習得するため、特別支援学校において3週間の実習を行う。附属視覚特別支援学校・附属聴覚特別支援学校・附属桐が丘特別支援学校(肢体不自由教育)・附属大塚特別支援学校(知的障害教育)・附属久里浜特別支援学校(知的障害教育、自閉症に特化)の5校を教育実習校とし、学生は単位習得状況に即して5校から1校を選択する。教科・自立活動等の授業の参観、ホームルーム・クラブ活動への参加、指導法や教材教具等に関する講義・実習の受講、および担当教科・領域の授業実習を行う。また、ホームルームの運営の実習も行う。	OATC171と同一。 実務経験教員
01EL121	発達・行動・言語障害指導法	1	1.0	1・2	春AB	応談	人間A111	宮本 昌子, 熊谷 恵子, 野呂 文行	発達障害(LD、ADHD、自閉スペクトラム症等)、行動(情緒)障害(不登校、選択性緘黙等)、言語障害(吃音、構音障害等)について、それぞれについて「生理、心理的特徴」「指導法の基礎」「指導の実際」を講義する。	OATC181と同一。 実務経験教員
01EL122	発達・行動障害生理・心理学	1	1.0	1・2	春AB	集中	人間A111	岡崎 慎治, 柘植 雅義	発達・行動障害生理・心理学における今日の課題を科学的に分析、理解できること、および実践科学としての障害科学における発達・行動障害生理・心理学的側面からの課題解決の専門的な知識・技能を得られることを目的に、医学・生理学、心理学など基礎科学の知見から発達・行動障害生理・心理学における今日の課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	いずれも10時開始 OATC182と同一。 5/10, 6/14 実務経験教員
01EL123	言語障害生理・心理学	1	1.0	1・2	春BC	集中	人間A102	宮本 昌子	正常な機能を備えた中枢神経系を有していれば、適切な言語環境からの刺激で、子どもは正式な訓練なしでも言葉が話すようになる。一方、言語発達障害のある子どもは期待された年齢段階で期待される水準の話し言葉を獲得できない。これまで、原因不明とされてきた言語発達障害の謎が近年、解明されつつある。本講義では、生理・心理学の側面から言語獲得を阻害する要因について学び、適切な支援法について考える。	OATC191と同一。 実務経験教員
01EL124	病弱教育学	1	1.0	1・2					病弱児教育の対象や教育措置について概観するとともに、それぞれの教育措置に対応する教育課程を理解する。また、病弱教育の歴史の理解から、現在の病弱教育の成立過程を概観し、現在の病弱教育の動向及び課題について理解する。具体的には、病弱教育の歴史(戦前)、病弱教育の歴史(戦後)、病弱教育の意義、病弱教育の対象、病弱児の教育形態、病弱児の教育課程、病弱児の自立活動、移行教育、病弱児教育の現状と課題を中心に概説する。	教室は人間B232 両日とも10時～17時 西暦偶数年度開講。 OATC1A1と同一。 2020年度開講せず。 詳細後日周知
01EL125	病弱指導法	1	1.0	1・2	春AB	集中	人間A101	深澤 美華恵, 竹田 一則	病弱児の指導について、教育課程・教育形態との関連をもとに、それぞれの教育的ニーズを概観し、それに応じた指導の基礎を理解し、指導のあり方を検討する。具体的にはアレルギー疾患、悪性新生物、心臓疾患、腎臓疾患、筋・骨格疾患、心身症、精神疾患を中心に疾患と教育的ニーズを理解し、さらに病弱児に対する指導、特別支援学校(病弱)における指導(訪問教育を含む)、特別支援学級における指導(院内学級を含む)、通常の学級における指導(通級による指導を含む)、病弱児に対する自立活動の実際それぞれについて概説する。	教室は人間B232 西暦偶数年度開講。 OATC1A2と同一。 5/30, 5/31 詳細後日周知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL126	病弱心理学	1	1.0	1・2					病弱児の発達、中途発病による心理的特徴に関する基礎的な理論、発達・心理のとらえ方、発達臨床、心理臨床の基礎について解説を行う。具体的には病弱と発達、病弱児の心理的特徴(身体的疾患)、病弱児の心理的特徴(精神的疾患)、中途障害としての病弱児の心理的特徴、病弱児・者のための心理アセスメント方法I(幼児・児童)、病弱児・者のための心理アセスメント方法II(成人)、病弱児・者の発達、心理援助のための諸理論と実践事例I(幼児)、病弱児・者の発達、心理援助のための諸理論と実践事例II(児童)、病弱者の心理援助のための諸理論と実践事例(成人)などを中心に概説する。	教室は人間B232 いずれも10時～17時 西暦偶数年度開講。 OATC1A3と同一。 2020年度開講せず。 詳細後日周知
01EL127	病弱病態生理学	1	1.0	1・2	秋B	応談		竹田 一則	病弱の原因となる基礎的な疾患や病的な状態の病態生理を理解するために、小児期における疾病の経過および特徴や病態生理ならびにその治療や対応の概略について理解する。具体的には気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、肥満・メタボリック症候群、小児がん、心身症・精神疾患、発達障害、心疾患・腎疾患などを中心に概説し理解を深める。	OATC1A4と同一。 実務経験教員
01EL128	聴覚障害教育学I	1	1.0	1・2	秋AB	集中	人間A102	鄭 仁豪	聴覚障害児の教育の本質、教育の歴史、教育制度全般について講述する。また、聴覚障害教育における最近の話題についても学ぶ。	教室は人間A102 両日とも10時～17時
01EL129	聴覚障害教育学II	1	1.0	1・2	秋AB	応談		左藤 敦子	聴覚障害児の教育について、幼児、児童、生徒の発達段階に基づいて全般的に講述する。	
01EL130	聴覚障害心理学I	1	1.0	1・2	春C	集中	人間A102	鄭 仁豪	聴覚障害児者の生涯にわたる発達を心理学的側面から捉え、聴覚障害児者に関する基礎的理解を深める。具体的には、聴覚障害の概念、認知・社会性発達、社会環境との相互作用などについて学ぶ。	
01EL131	聴覚障害心理学II	1	1.0	1・2	春A	集中		加藤 靖佳	聴覚障害に関連するコミュニケーション、言語、聴覚、音楽に関する心理学的側面について講述する。	両日とも10時～18時
01EL132	聴覚障害病態生理学I	1	1.0	1・2	春AB	火3		原島 恒夫	聴覚障害に関連する聴覚器官の生理機能について、外耳、中耳、内耳、中枢聴覚系の概要を講述する。	教室は人間B232
01EL133	聴覚障害病態生理学II	1	1.0	1・2	春A	集中		加藤 靖佳	聴覚障害における発声発語器官の生理機能及び発語指導を支援する上で必要な関連領域の基礎について講述する。	両日とも10時～18時

専門科目/特別支援教育学(特別支援教育学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL203	視覚障害教育実践学セミナー	2	1.0	1	秋AB	火5	人間B231	小林 秀之, 宮内久絵	特別支援教育及び視覚障害教育関連の論文講読及び討論により、実践科学と基礎科学との架橋に関することの意義と方法を学修する。	視覚障害教育実践学特講履修済みの者に限る。
01EL204	視覚障害教育開発演習	2	2.0	2	通年	随時		柿澤 敏文, 小林秀之, 佐島 毅, ラミチャネ カマル, 宮内 久絵	視覚障害教育の開発に関わる研究テーマの設定、研究手法(事例研究, 授業研究, 調査研究, 実験研究, 文献研究)の採用、データの収集分析など研究プロポーザルの作成、展開、議論の作業を通じて、視覚障害教育の開発に関わる手法を学修する。	詳細後日周知
01EL207	聴覚障害教育実践学セミナー	2	1.0	1	秋B 秋AB	集中 月4	人間A102	鄭 仁豪, 原島 恒夫, 加藤 靖佳, 左藤 敦子	特別支援教育及び聴覚障害教育関連の論文講読及び討論により、実践科学と基礎科学との架橋に関することの意義と方法を学修する。	10時～13時 場所未定 聴覚障害教育実践学特講履修済みの者に限る。
01EL208	聴覚障害教育開発演習	2	2.0	2	通年	随時		原島 恒夫, 加藤 靖佳, 鄭 仁豪, 左藤 敦子	聴覚障害教育の開発に関わる研究テーマの設定、研究手法(事例研究, 授業研究, 調査研究, 実験研究, 文献研究)の採用、データの収集分析など研究プロポーザルの作成、展開、議論の作業を通じて、聴覚障害教育の開発に関わる手法を学修する。	詳細後日周知
01EL211	知的障害教育実践学セミナー	2	1.0	1	秋AB	応談6		米田 宏樹	特別支援教育及び知的障害教育関連の論文講読及び討論により、実践科学と基礎科学との架橋に関することの意義と方法を学修する。	知的障害教育実践学特講履修済みの者に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL212	知的障害教育開発演習	2	2.0	2	通年	随時		米田 宏樹, 小島 道生	知的障害教育の開発に関わる研究テーマの設定、研究手法(事例研究, 授業研究, 調査研究, 実験研究, 文献研究)の採用、データの収集分析など研究プロポーザルの作成、展開、議論の作業を通じて、知的障害教育の開発に関わる手法を学修する。	詳細後日周知
01EL215	肢体不自由教育実践学セミナー	2	1.0	1					特別支援教育及び肢体不自由教育関連の論文講読及び討論により、実践科学と基礎科学との架橋に基づく課題解決の意義と方法を学修する。	肢体不自由教育実践学特講履修済みの者に限る。教室は人間B232 2020年度開講せず。
01EL216	肢体不自由教育開発演習	2	2.0	2	通年	随時		川間 健之介, 竹田 一則	肢体不自由教育の開発に関わる研究テーマの設定、研究手法(事例研究, 授業研究, 調査研究, 実験研究, 文献研究)の採用、データの収集分析など研究プロポーザルの作成、展開、議論の作業を通じて、肢体不自由教育の開発に関わる手法を学修する。	詳細後日周知
01EL218	病弱教育実践学セミナー	2	1.0	1	秋C	金1, 2	人間 B232	竹田 一則	特別支援教育及び病弱関連の論文講読及び討論により、実践科学と基礎科学との架橋に関することの意義と方法を学修する。	教室は人間B232 病弱教育実践学特講を受講済みの者に限る。
01EL221	自閉症教育実践学セミナー	2	1.0	1	秋AB	応談4		柘植 雅義	関連する文献の講読やセミナーを通じて、高度専門家としての実践と研究との架橋を実現できる能力を涵養する。	自閉症教育実践学特講履修済みの者に限る。
01EL222	自閉症教育開発演習	2	2.0	2	通年	随時		柘植 雅義, 野呂 文行	自閉症教育の開発に関わる研究テーマの設定、研究手法(事例研究, 授業研究, 調査研究, 実験研究, 文献研究)の採用、データの収集分析など研究プロポーザルの作成、展開、議論の作業を通じて、自閉症教育の開発に関わる手法を学修する。	詳細後日周知
01EL225	発達障害教育実践学セミナー	2	1.0	1	秋C	応談2, 3		熊谷 恵子	発達障害(学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症等)に関する英文論文を読み、現在、世界における発達障害に関する教育心理的な課題を明らかにし、自分の研究テーマについて考える。	発達障害教育実践学特講履修済みの者に限る。
01EL226	発達障害教育開発演習	2	2.0	2	通年	随時		熊谷 恵子, 岡崎 慎治	普通附属学校や公立学校において巡回相談員や特別支援教育支援員等、学校教諭以外に特別支援教育に関係する役割の職種を学び、それらの役割が実際にどのように行われているかを見学し、発達障害の子どもの問題の現れに気づくにはどのようにしたらよいのか学ぶ。	詳細後日周知
01EL228	言語・コミュニケーション障害教育実践学セミナー	2	1.0	1	秋AB	応談4		宮本 昌子	言語・コミュニケーション障害教育に関わる、今日の実態と課題について、研究所が発行する報告書と言語障害通級指導教室での見学を通して把握し、今後の課題について考える授業である。	
01EL230	自立活動論	1	1.0	1・2					自立活動とは何か、自立活動成立の歴史的背景はいかなるものか、自立活動の理念に基づいて指導をどのように具現するのかなどについて、学術研究の動向を踏まえつつ論述する。	2020年度開講せず。
01EL233	理療教育学特講	1	1.0	1	春C	月3, 4		緒方 昭広, 和田 恒彦	理療科教育および視覚障害教育の現状と課題を学修するとともに、理療教育を行う上で必要な知識と技術を習得する。これにより理療科教育に応用する能力と態度を育てる。	東京キャンパスで実施する。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。
01EL234	理療科教育実践演習	2	1.0	2	通年	随時		緒方 昭広, 和田 恒彦	理療科教育に関わる授業実践を抽出し、授業の診断・デザインから実施、評価までの一貫した技法に取り組む。盲学校、視力障害者センターと協働して先導的な取り組みを行うことで、高度な授業実践法の開発の能力を高める。	詳細後日周知。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。詳細後日周知
01EL235	東洋医学概論	1	1.0	1	春AB	木3	人間 A102	緒方 昭広, 和田 恒彦	東洋医学系物理療法を中心に理療臨床に必要な東洋医学的概念について学修する。	
01EL236	理療臨床論特講	1	1.0	1	春C	火5, 6		緒方 昭広, 和田 恒彦	理療臨床で扱う頻度が高い疾患に対する治療法をテーマに原因、診察法、治療法、治療効果などについて学習する。	東京キャンパスで実施する。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL239	理療教育学演習	2	2.0	2	通年	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	特別支援教育及び理療関連の論文講読及び討論により、「実践科学と基礎科学との架橋」に関することの意義と方法を学習する。	詳細後日周知。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。詳細後日周知
01EL240	理療研究法	4	2.0	1	通年	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	理療臨床及び理療教育に用いる各種検査機器を修得すると共に、実験、臨床、調査研究の方法論を学修する。	詳細後日周知。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。詳細後日周知
01EL241	理療教育指導実習	3	1.0	1	春ABC	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	理療科教員養成に関わる授業実践を抽出し、授業のデザインから実施、評価までの一貫した理療教育指導実習に取り組む。理療科教員養成施設と協働して先導的な取り組みを行うことで、高度な授業実践の開発の能力と指導法を学修する。	詳細後日周知。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。詳細後日周知
01EL244	理療教育授業開発演習	2	1.0	1	通年	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	理療科教育の開発に関わる研究テーマの設定、研究手法(事例研究, 授業研究, 調査研究, 実験研究, 文献研究)の採用、データの収集分析など研究プロポーザルの作成、展開、議論の作業を通じて、視覚障害生徒の個々のニーズにあった理療科教育の開発に関わる手法を学修する。	詳細後日周知。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。詳細後日周知
01EL245	視覚障害教育実践学特講	1	1.0	1	春AB	火5	人間A102	柿澤 敏文, 小林秀之, 佐島 毅, 宮内 久絵	教育学、心理学、医学・生理学など基礎科学の知見から視覚障害教育における今日的課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	
01EL246	聴覚障害教育実践学特講	1	1.0	1	春AB	月4	8B209	鄭 仁豪, 原島 恒夫, 加藤 靖佳, 左藤 敦子	教育学、心理学、医学・生理学など基礎科学の知見から聴覚障害教育における今日的課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	
01EL247	知的障害教育実践学特講	1	1.0	1	春AB	応談6		米田 宏樹	教育学、心理学、医学・生理学など基礎科学の知見から知的障害教育における今日的課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	01EL209を履修済みの者の受講は認めない。
01EL248	肢体不自由教育実践学特講	1	1.0	1					教育学、心理学、医学・生理学など基礎科学の知見から肢体不自由教育における今日的課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	01EL213を履修済みの者の受講は認めない。2020年度開講せず。
01EL249	病弱教育実践学特講	1	1.0	1	春AB	金3	人間B232	竹田 一則	教育学、心理学、医学・生理学など基礎科学の知見から病弱教育における今日的課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	01EL217を履修済みの者の受講は認めない。病弱生理・心理セミナーと合わせて受講することが望ましい。
01EL250	自閉症教育実践学特講	1	1.0	1	春AB	応談4		柘植 雅義	教育学、心理学、医学・生理学など基礎科学の知見から自閉症教育における今日的課題を分析、整理するとともに、実践科学として解消すべき課題は何かを学ぶ。	
01EL251	発達障害教育実践学特講	1	1.0	1	春AB	応談3		熊谷 恵子	発達障害(学習障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症等)を理解する上で必要となる心理学的な知識(認知的な特徴、発達、行動等)、学習上での特徴を取り上げ、さらに、支援のための通常学校でのシステム、教育相談など、指導につなげるためのリソースについても講義する。	
01EL252	言語・コミュニケーション障害教育実践学特講	1	1.0	1					講義と発表を組み合わせた授業である。スピーチの障害、ランゲージの障害およびコミュニケーション障害について学んだ後、特に大脳における言語障害の情報処理過程について学び、情報処理過程から治療的教育について考える。漢字、カタカナ、ひらがな、英語の情報処理過程の違い、音読や書字の障害構造に関する新しい考え方や最新の治療法について概説する。受講者は平成30年度以前の入学者に限る。	いずれも10時~17時 2020年度開講せず。
01EL253	特別支援教育実践学実習	3	2.0	1					特別支援教育の実践を抽出し、教育的診断・デザインから実施、評価までの一貫した教育開発実習に取り組む。附属学校等と協働して先導的な取り組みを行うことで、高度な授業実践の開発能力を高める。	実習を希望する障害の教育実践特講を履修済みであること。特別支援学校での実習を希望するものは当該教育領域の1種免許状を有していること。障害科学専攻の学生に限る。2020年度開講せず。詳細後日周知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL254	特別支援教育カリキュラム・授業開発論	1	1.0	1・2					特別支援教育における今日的な課題との関連からカリキュラム開発の意義と手続きを概観し、この理解に基づく授業の構想と展開について講述する。	西暦偶数年度開講。2020年度開講せず。
01EL255	特別支援教育学	1	1.0	1・2	春AB	木2		米田 宏樹	わが国の特別支援教育の理念と制度について、歴史的、社会的、あるいは国際比較の観点から講述する。	OATC1F1と同一。実務経験教員
01EL256	理療臨床論	1	1.0	1	通年	応談		緒方 昭広, 和田恒彦	外科系および内科系疾患、スポーツ生涯における鍼灸治療をテーマに、原因、診察法、治療法、治療効果およびスポーツ分野で鍼灸師が果たす役割などについて学修する。	東京キャンパスで実施する。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。詳細後日周知
01EL257	理療臨床実習	3	2.0	1・2	通年	随時		緒方 昭広, 和田恒彦	理療科教員養成施設理療臨床部および関連施設で、施術を適切かつ効果的に行う方法を学修する。	東京キャンパスで実施する。特別支援学校自立教科教諭(理療)免許所持の者に限る。詳細後日周知

専門科目/障害支援学(障害臨床支援学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL301	臨床発達心理学	1	2.0	1・2	春AB 春C	月4 月3,4	人間A101	大六 一志	発達心理学の最近の考え方、および基礎的な知見について理解する。またそれを教育や臨床の実践に結びつける方法について理解する。さらに教育や臨床の実践から発達心理学の理論に還元できることについて理解する。 (1) 臨床発達心理学とは:新しい発達観、インクルージョン、基礎と実践、(2) 臨床発達心理士の職務、(3) 発達の支援とは:発達の最近接領域、足場作り、(4) 発達の原理・基盤的命題、(5) 発達課題、遺伝と環境、発達加速現象など、(6) 臨床発達心理学の研究法、(7) 対象の理解:査定・検査・評価・診断の方法、理解のプロセス、(8)~(11) 発達の各期とその特徴と臨床I-乳児期・幼児期・児童期の特徴、臨床の実践、(12)~(15) 発達の各期とその特徴と臨床II-成人前期・成人後期・高齢期の特徴、臨床の実践、(16) 知能の生涯発達について、(17) 言語の生涯発達について、(18) 社会的スキルの生涯発達について、(19)~(20) 最近のトピックス	OATC1D2と同一。実務経験教員
01EL302	教育臨床発達援助論	1	2.0	1・2	春BC	集中	人間A101	熊谷 恵子, 野呂文行, 佐々木 銀河	定型発達の児童生徒も含めて、教育臨床場面における児童生徒の発達支援の原理と方法についての理解を深める。教育臨床場面における課題に対して、アセスメントを実施し適切な援助計画を立案できる力を涵養する。	西暦偶数年度開講 西暦偶数年度開講。OATC1D3と同一。実務経験教員
01EL303	知的・発達障害心理学特講	1	2.0	1・2	秋AB	水3,4		小島 道生	知的障害、自閉スペクトラム症、学習障害、ADHDなどについて、発達のメカニズムをふまえながら、認知、言語、記憶、情動といった心的機能の特性と、有効な指導法を講義する。また、知能検査を中心としたアセスメント結果を発達支援に結びつける考え方などについて、事例の検討も交えながら講義・演習を行う。	OATC1C1と同一。実務経験教員
01EL304	知的・発達障害指導法特講	1	2.0	1・2	春AB 春C	木1 木1,2	人間A101	熊谷 恵子, 岡崎慎治	知的障害、発達障害の発達支援に必要な教育心理学および発達心理学の基礎について講義する。典型的な発達と知的障害、発達障害の異同について説明し、能力の水準に応じて考えるべき問題と、能力の水準に関係なく蓄積されていく知識や経験の区別について講義する。さらに、知的障害、発達障害の能力の水準、認知能力の特徴に応じた適切な指導について理解する。	OATC1C2と同一。実務経験教員
01EL305	行動障害指導法特講	1	2.0	1・2	秋AB	随時		佐々木 銀河, 野呂文行	行動障害に関する心理的特徴、アセスメント方法、指導計画の立案、指導法、指導の実際についての基礎的知識を講義するとともに、実践論文を取り上げ、その実際を提示する。特に行動論的立場からの指導法について講義する。	OATC1D1と同一。実務経験教員 OATC1D1と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL306	行動問題面接指導法特講	1	2.0	1・2	春AB 春C	金1 金1,2	人間A101	野呂 文行	知的障害を伴わない発達障害のある児童生徒の多くは、通常の学級において教育を受ける。そのような児童生徒の中には、多動による離席や教室からの飛び出し、他の児童生徒に対するちょっかいや他害など、行動上の問題を示すものも少なくない。この授業では、発達障害のある児童生徒の示す行動上の問題について、担任教師に対するコンサルテーションや学校組織内のコーディネーションを通じて、問題解決を行うための知識・技術の習得を目指す。特に応用行動分析学の分野で研究知見が示されている、包括的な行動支援の枠組みである「学校規模の積極的行動支援 (School-wide Positive Behavior Support)」の観点から、面接やコンサルテーション、コーディネーションの技法について演習や実習をまじえながら講義をする。	OATC1D4と同一。 実務経験教員
01EL308	臨床発達心理査定法特講	1	2.0	1・2	春ABC	集中	人間A101	岡崎 慎治, 原島 恒夫, 野呂 文行	学校教育場面において必要とされる臨床心理学的評価の諸方法について、演習をまじえながら具体的・実践的な講義を行う。認知機能・知的機能の評価(岡崎)、感覚の評価(原島)、行動・情緒面の評価(野呂)を中心に、基本的な理論、基本的技法、実際の臨床場面での適用方法と配慮事項について講述する。 学校教育場面において必要とされる臨床発達心理学的評価の諸方法について、その理論と具体的な技法について理解することを目標とする。	いずれも10時開始 OATC1D5と同一。 6/7, 6/14, 6/28, 7/12 詳細後日周知
01EL311	自閉症スペクトラム障害専門実習	3	3.0	1・2					・ 自閉症や広汎性発達障害児などの自閉症スペクトラム障害の幼児児童生徒の臨床指導に参加し、応用行動分析学及び行動変容法の立場から、学生自身でアセスメント、指導計画の立案、実際の指導を行い、基本的な援助アプローチの知識と技術を学習する。  ・ 臨床指導は学生5~6名のグループで行う。  ・ 担当教員及びティーチングアシスタントによる事前指導と事後指導を行うとともに、実際の指導場面においても指導技術等について助言を行う。	2020年度開講せず。
01EL312	行動臨床心理学	1	2.0	1・2					障害のある児童生徒に加えて、定型発達児童生徒の支援の基礎となる臨床心理学に関する理論、アセスメント法、介入法に関する基礎的知識を習得する。アセスメント理論として「標準化された検査」「行動観察法」を中心に講義を行う。また介入の理論としては、「行動論的アプローチ」を中心に講義を行い、理解を深める。さらに実際の行動問題の理解に必要な理論と介入の実際について、詳細に講義する。さらに行動問題の開発に向けた連携の在り方についても解説する。	教室は人間A101 いずれも10時~17時 西暦偶数年度開講。 OATC1D6と同一。 2020年度開講せず。 実務経験教員
01EL313	言語・コミュニケーション障害心理学	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		宮本 昌子	前半は言語発達の理論と言語発達を支えるメカニズムについて解説する。後半は言語発達のアセスメントの方法論、また実践的な言語・コミュニケーション指導の理論的、方法論的な紹介を事例研究を通して行う。	詳細後日周知

専門科目/障害支援学(障害福祉支援学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL401	障害福祉支援の理論と方法(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1	2.0	1・2	春AB秋AB	月6	人間B232	森地 徹	障害福祉の対象となる人々(身体障害・知的障害・精神障害)の生活理解と支援方法について総合的に学びながら、障害受容、対象喪失問題、リカバリー論への障害当事者からの視点とソーシャルワークの各理論との接続を検討しながら障害福祉支援学の構想について考えてみたい。	教室は人間B232
01EL402	障害者の生活と権利擁護研究	1	2.0	1・2	通年	応談3		名川 勝	講義と討議を併用する。生活支援と権利擁護支援上の必要事項について必要な知識を提示し、課題を報告・討議する。授業計画に示されるテーマ以外にも必要に応じて取り扱う。	
01EL404	地域福祉研究	1	1.0	1・2	秋ABC	応談2		大村 美保	現代社会における社会福祉の基本理念と福祉の機能が、対象者の抱える「生活問題」の理解と解決のために提供すべき「援助方法と制度施策」の現状と課題を検討する。また社会福祉専門職制度と倫理、行政、民間等における社会福祉組織の運営と管理のあり方を検討し、さらに、社会福祉の国際的な歴史的展開(日本・欧米・アジアで意味すること)を考える。	



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL406	障害福祉支援学演習	2	2.0	2	通年	応談		森地 徹, 山中 克夫, 名川 勝, 大村 美保	本演習では、障害福祉支援(高齢の認知症なども含む)について、文献購読等の演習を行う。受講者は、各教員の専門テーマにもとづき、グループに分かれ、演習を行う。	
01EL407	障害福祉支援学実践実習	3	3.0	1	通年	随時		森地 徹, 山中 克夫, 名川 勝, 大村 美保	本実習では、障害福祉学(高齢の認知症などを含む)に関するフィールドワーク、グループワーク等を行う。受講者は、各教員が設定したテーマにもとづき、グループに分かれ、実習を行う。	
01EL408	高齢福祉心理学特講	1	1.0	1・2					高齢者福祉や高齢者介護(あるいは高齢者医療)において研究や実践を行ううえで有用と思われる認知症の人々に対する認知・神経心理学的アプローチ(前半)、心理的介入(後半)に関する授業を行う。	2014年までの01EL405 高齢福祉心理学特講の単位取得者は履修できない。教室は人間A112 両日8時40分～16時30分 2020年度開講せず。

専門科目/障害共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL504	視覚障害生理・心理学セミナー	2	1.0	1・2	秋ABC	応談2		柿澤 敏文	視覚障害教育の今日的課題(例:視覚障害乳幼児の機能検査、視覚補助具の評価・開発・利用方法、歩行分析、障害受容と態度等)を中心に文献の集め方、集約の仕方、文章化の方法について、演習形式で指導する。得られた結果に対し、受講生同士で討論を行うことにより、結果に対する考察の仕方を学習する。課題の設定は教員が中心に行う。	教室は変更になる場合があります。詳細後日周知
01EL505	聴覚障害生理・心理学セミナー	2	1.0	1・2	秋ABC	応談		原島 恒夫, 鄭 仁豪, 加藤 靖佳, 左藤 敦子	聴覚障害教育に関する医学・生理学分野、心理学・社会学分野、聴覚科学・音声科学分野の国内外の論文を読み、討論をおこなう。	教室はA102 受講希望者は事前課題について指示があるので、12月24日までにオーガナイザー(原島)まで連絡すること。
01EL507	運動障害生理・心理学セミナー	2	1.0	1・2	秋A 秋B 秋C	応談6		竹田 一則 川間 健之介	脳性疾患をはじめとする運動障害を持った小児に関わる基本的課題(例:小児医療、看護、リハビリテーションを取り巻く諸問題)を生理学・心理学の観点から文献を通して指導する。得られた結果に対し、受講生同士で討論を行うことにより、結果に対する考察の仕方を学習する。課題の設定は教員が中心に行う。	教室は人間B232
01EL508	病弱生理・心理学セミナー	2	1.0	1・2	春ABC	応談2		竹田 一則	慢性疾患をはじめとする健康障害を持った小児に関わる発展的課題(例:小児医療、看護、リハビリテーション、福祉をとり巻く諸問題)を中心に文献を通して指導する。得られた結果を発表し、受講生同士で討論を行うことにより、結果に対する考察の仕方を学習する。課題の設定は教員の指導のもと学生自らが行う。	
01EL509	言語障害生理・心理学セミナー	2	1.0	1・2	秋ABC	応談5		宮本 昌子	言語障害の研究方法について学ぶ。関連の論文を読んでまとめ、発表し、学生同士で討論することで、論文の書き方についての理解を深める。	
01EL510	障害学生支援学特講	1	1.0	1・2	春AB	月5	人間A111	名川 勝, 岡崎 慎治, 原島 恒夫, 小林 秀之, 佐々木 銀河	高等教育機関における障害学生支援に関わる理念ならびに関連法案について講述する。また、支援対象となる障害種(視覚、聴覚、運動、発達障害等)ごと、支援領域(時系列的理解、バリア解消、生活、就職ほか)ごとに支援方法を検討する。大学等の高等教育機関における障害学生の支援について、支援対象となる障害と支援のあり方について習得することを目標とする。また、障害学生や支援学生にも参加してもらい、障害学生支援について具体的な理解をはかる。学校教育場面において必要とされる臨床発達心理学的評価の諸方法について、その理論と具体的な技法について理解することを目標とする。	OATC1E1と同一。実務経験教員
01EL511	障害学生支援学セミナー	2	1.0	1・2	秋AB	月5	人間B232	名川 勝, 岡崎 慎治	参加学生は各テーマに基づき、文献調査あるいはフィールド調査を行い、発表、議論する。議論結果によっては更にテーマを深めて発表を行う。受講学生は「障害学生支援学特講」をあらかじめ履修したものとして実施する。また「特講」内で本学における障害学生支援に参加する機会を紹介するので、これらにも関わることでフィールドを得ることが望ましい。	01EL510 障害学生支援学特講を受講しておくこと OATC1E2と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL512	障害児教育国際教育開発論	1	1.0	1・2					欧米諸国、東アジア諸国、開発途上国における障害児教育の現状を理解するとともに、国際開発教育の意義とその必要性について学習する。また、国際社会と国内における教育協力の動向について理解するとともに、日本の障害児教育におけるコンテンツを活用し、グローバルイノベーション、国際協調、平和教育、インクルーシブ教育などの観点から、開発途上国への教育開発や協力の可能性について模索する。	2020年度開講せず。
01EL513	海外特別研修セミナー	4	2.0	1・2					韓国、台湾、中国、インドネシア、ベトナム等の特別支援教育に関する主要大学と連携し、各国の特別支援教育の制度・実情・研究状況等について調査・研究し、連携大学の大学院生・教員と共同セミナーを実施し、それぞれの調査・研究の成果を発表し、相互理解を深める。特別支援教育に関連する連携大学や関連諸機関を視察し、その実情の理解を深める。	2020年度開講せず。
01EL514	学習障害特講	1	1.0	1・2					学習障害の定義、背景となる生物学的原因、大脳機能、構造、などについて学んだ後、障害のある方の実態を理解する。さらに、学習障害の背景となる認知障害を理解し、自立にむけて何を支援すべきか考える。(定義、生物学的原因、大脳、認知障害、支援、自立)	2020年度開講せず。 詳細後日周知
01EL517	障害原理論特講	1	1.0	1・2	春AB	火2	人間B232	岡典子	歴史、政治・経済、科学の発展、教育・福祉、文化・宗教等の諸要因が社会における障害の捉え方(障害観)に及ぼす影響について考察する。障害者教育・福祉の本質的問題について、縦断的(時期・時代による異同)および横断的(障害種別による異同、教育と福祉の異同、国・地域による異同)視点から深く掘り下げて考察する。	
01EL518	障害原理論セミナー	1	1.0	1・2	秋AB	火2	人間B232	岡典子	障害原理論の今日的課題(例:ノーマライゼーション、インクルージョン、エンパワーメント、障害者自立支援、特別支援教育制度改革、触法障害者問題、生命倫理と障害等)を中心に、文献の集め方、集約の仕方、文章化の方法を修得する。得られた結果に対し、受講生同士で討論を行うことにより、結果に対する考察の仕方を学習する。	
01EL520	知的・発達障害生理・心理学セミナー	2	1.0	1・2					知的障害、発達障害等について、主に生理心理学や神経科学に関わる研究論文や書籍を講読し、議論する。これにより、これまでの研究成果および最近の研究動向について学習し、知的障害、発達障害等の基礎的研究知見への理解を深めるとともに、これらの知見に基づいて自分なりの観点や意見をもつようになることを目指す。	2020年度開講せず。
01EL521	Special Lecture on Disability Sciences	1	1.0	1・2	春ABC	集中	人間A101	宮内久絵, ラミチャネ カマル	オムニバスの講義形式で授業を行う。諸外国における障害科学に関連する課題について、その背景にある歴史的・文化的背景と併せて理解し、課題解決に資する知識・技能を修得することを目的とする。	1000-1600 each day OATC1G1と同一。 英語で授業。 詳細後日周知

専門科目/後期課程接続科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EL610	障害科学講究I	1	1.0	1	春季休業中	随時		左藤 敦子, 小島 道生	障害科学学会に参加した上で、学会での研究発表に関するレポートを提出する。あるいは指導教員に指導を受けたうえで、障害科学学会において研究発表を行う。	
01EL611	障害科学講究II	1	1.0	1・2	通年	随時		障害科学専攻全教員	障害科学学会以外の学会において、指導教員に指導を受けたうえで、筆頭発表者として特別支援教育に関する研究発表を行う。	
01EL613	障害科学講究III	1	1.0	2	通年	随時		障害科学専攻全教員	障害科学学会以外の学会において、指導教員に指導を受けたうえで、筆頭発表者として特別支援教育に関する研究発表を行う。	